

◇山歩きで「引き返す」を学んだ

私自身山歩きは好きな方で、過去に土合駅～谷川岳山頂から蓬峠を越えて新潟県側の土樽駅に至るコースや外秩父七峰巡り（42.195 キロ）他を歩いたことがある。すごく残念だったのは独身時代、夏季連休に仲間と白馬岳から北アルプスを縦走する予定で現地に赴き、白馬岳雪渓下の山小屋に宿泊し、明朝から雪渓にとっかかる予定だったが、天候が悪化するという理由で山小屋で足止めされ、計画を断念した事だった。

定年後は両毛地区（足利・佐野・桐生）や県内外（赤城、榛名等の外輪山、妙義、尾瀬、足尾周辺、野反湖周辺）、湯ノ丸山などの群馬・長野県境の山々他山梨の西沢溪谷等を歩いた。ところが、一度だけヒヤリがありすごく焦り狼狽えた。それは、黒保根村（現桐生市）にある「栗生山」に登ったはいいが、帰りの下山口を暫らく下ってから見失ってしまった事だった。原因は登山道から尾根に出たので左折したが、確認せず頂上に向かってしまった。ところが、下山するとき目印のピンクリボンと思われる？ものに安易従い、下山道を進んだところ行き止まりになってしまった。

そこで、下山道を必死になって探しても見つからなかった。困り果て、携帯電話が通じるか試してみたところ電波が弱くて不通だった。そこで、暫らく冷静になって考えてみたら、「迷ったら引き返す」というのが頭に浮かんだので頂上迄引き返した。そこで、もう一度尾根伝いの下山道を慎重に探したら下山口を見つける事が出来て、無事に帰ることができた。そこで、なぜ目印と思われるピンクのリボンが、関係ない方向に付けられていたのか不可解だった。幸いだったのは初夏の午後1時30分頃の真昼の事で、夕暮れ時だったらどうなっていたか解らい。

- 写真上から1・黒保根の栗生山山頂。
- 写真上から2・12月半ば妻と赤城山の鈴が岳へ。
- 写真上から3・赤城山の鍋割山と荒山高原。
- 写真上から4・上信国境の神津牧場ハイク。
- 写真上から5・妻と桐生の鳴神山登山。

大槻伸次

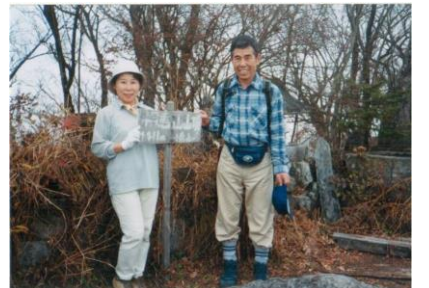
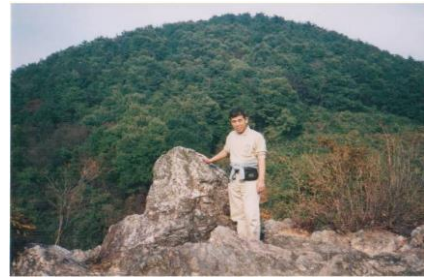


現在は、膝の調子がよくなかった事もあり、気が向けば近隣の低山を軽く歩く程度である。そこで、テレビの山岳ものは大好きで欠かさず見ている。BS103 月曜 pm7 時 30 分から 30 分間放送される「日本百名山」の視聴を欠かさないが（再放送もある）、見られない時は録画している。他に、BS103 で随時放送される「田中陽希」氏の一筆書きのグレート・トラバース（日本百名山、二百名山、三百名山）は圧巻である。

（2021 年 3 月現在、番組進行中。15 分の再放送有）日本百名山は、小説家で登山家でもあった深田久弥が著した山岳随筆集（山の品格・山の歴史・個性のある山を選定基準）の中にある百座の名峰である。

また、深田久弥のファン組織である「深田クラブ」選定の「日本二百名山」、日本山岳会選定の「日本三百名山」等がある。他に、田中澄江が昭和 55 年（1980 年）発表した「花の百名山」（随筆集・BS103 で現在放送中の番組は花の百名山）等もある。現在は吉田類の日本百低山も始まった（BS103）。

このような百名山ブームの経過があっただけか、全国各地にさまざまな百名山が選定されたようだが、我が群馬県でも群馬の百名山が選定されている。どの山も魅力的で登ってみたいが、今となっては無理なので、せめても NHK 地上波「ほっと群馬 630」の中で時々「群馬の山」を紹介しているので欠かさず見るようにしている。（2021/7/20 記）



■写真上から 1・桐生のガッチン山。■写真上から 2・佐野の大小山。■写真上から 3・榛名外輪山の相馬山山頂。■写真上から 4・足尾の備前楯山山頂。■写真上から 5・野反湖八間山ハイク・カモシカ沢。■写真上から 6・上信国境「湯ノ丸山」登山。■写真左・山梨・秋の西沢溪谷ハイキング。

